

みちのくの御器
秀 衡 塗

九百年の伝統が息づく漆器の逸品



汁椀 雲内朱
 径12.0×高さ6.0cm



汁椀 雲(内外同色)
 径12.0×高さ6.0cm



汁椀 金千代
 径12.0×高さ6.0cm



盛皿18cm金千代<朱・黒>
 径18.0×高さ4.0cm



お好み皿鉄仙 7号<朱・黒>
 径21.0×高さ4.0cm



お好み皿鉄仙 8号<朱・黒>
 径24.0×高さ4.8cm



多用椀 金巻 1客
 径15×高さ9.2cm



汁椀 白菊 1客
 径12×高さ6.5cm



箸 並<朱・黒> 上<朱・黒>
 径0.8×長さ22.5cm

正法寺椀

三ッ組<朱・黒>28,500円

1348年に開山した大梅拈華山圓通正法寺(奥州市水沢区)は曹洞宗の本寺第三の本山として東北地方における曹洞宗の中心寺院として発展。この正法寺椀は修行生活の中に息づいてきた御器であり、正法寺公認の唯一の正法寺椀です。



文秀堂株式会社

岩手県奥州市水沢区久田22-3 TEL 0197-23-4165 FAX 23-4167

吉小路店クラフト館

TEL 0197-23-4174